

2022年2月28日

HOBIA NEWS No.380

- 全国バイオコミュニティ連絡会の報告
- Web 見学会 報告

● 全国バイオコミュニティ連絡会の報告

HOBIA 理事 富田房男

本年1月21日行われた表記会議の報告です。この会議は、バイオインダストリー協会事業連携推進部に事務局を置き、坂田恒昭氏（近畿バイオインダストリー振興会議副理事長）が会長、鈴木栄一郎氏（木原記念横浜生命科学振興財団 常務理事）が副会長で、私（筆者）が監事を務め、塚本芳昭氏（バイオインダストリー協会専務理事）が事務局長を務める全国組織です。これは前身の「全国バイオ関係者会議」を改組したものです。今回が第一回の会合でした。

まず岸田総理の新年の挨拶を視聴した後に政府関係省庁と参加者からそれぞれ紹介がありました。短い割り当て時間のため概況を述べるにとどまり、討論には至りませんでした。従って以下に掲げるものはそれぞれの発表のキーワードとご理解ください。（発表に使用された資料は、筆者のもとにありますので、ご質問やコメントをお寄せください。）

○ 内閣府 バイオコミュニティへの期待と題して、バイオ関連市場の拡大（バイオ製造）、一次生産等、健康・医療）、バイオコミュニティの形成、データ基盤の整備についての説明がありました。内閣府が認定した地域バイオコミュニティは、北海道プライムバイオコミュニティ、鶴岡バイオコミュニティ、長岡バイオコミュニティ、福岡バイオコミュニティで、このほか東海バイオコミュニティが登録されている。ここでは、この事業の発信母体としての総論がありました。

○ 経産省生物化学産業課 ワクチン開発・生産体制強化に向けた政策について 特にワクチン製造拠点の整備（ワクチンとバイオ医薬品のデュアルユース設置）と創薬ベンチャー育成を主体にした概要説明がありました。

○ 厚労省医政局経済課 厚労省における医療系ベンチャー支援の取組 特に医療系ベンチャー・トータルサポート事業、総合ポータルサイト&成功事例、医療系ベンチャーサミットの開催実績、JHVS（ジャパン・ヘルスケアベンチャーサミット2021）の紹介がありました。

○ 環境省地球環境局地球温暖化対策事業室 2050年カーボンニュートラルの実現に向けたバイオに関する環境省の取組 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（脱炭素先行地域づくり事業への支援、重点対策加速化事業への支援）、地域再エネ導入を計画的・段階的に進める戦略策定支援、

地域レジリエンス・脱炭素化を同時に実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備などの導入推進事業（災害・停電時に公共施設へのエネルギー供給が可能な再生可能なエネルギー設備の導入支援）革新的な省 CO₂ 実現のための部材（GaN）や素材（CNF）の社会実装・普及展開加速化事業について説明がありました。

○ 文科省科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課拠点形成・地域振興室 文科省におけるバイオ分野関連の産学連携瀬策について 共創の場形成支援（大学を軸とする産学連携、1．政策重点分野、2．共創分野（育成型と本格型）3．地域共創分野（育成型と本格型））、つくば型デジタルバイオエコノミー社会形成の国際拠点、世界モデルとなる自律成長型人材・技術を育む総合健康産業都市拠点、ワクチン開発のための橋渡し研究などの説明がありました。

○ 農水省農林水産技術会議事務局 みどりの食料システム戦略の実現に向けたバイオ関連の取組について みどりの食料システム戦略の概要（持続可能な食料システムの構築に向け、「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工、流通、消費の各段階の取組とカーボンニュートラルなどの環境負荷軽減のイノベーションを推進（2050年までに目指す姿として、農林水産業のCO₂ゼロエミッション化の実現、低リスク農業への転換・化学農薬の使用量（リスク換算）を50%低減・化学肥料の30%低減・有機農業の取組面積の割合を25%（100万ヘクタール）に拡大・食品製造業の労働生産性を最低3割向上・食品企業における持続可能性に配慮した輸入原材料調達の実現を目指す・エリートツリーなどを林業用苗木の9割以上に拡大・ニホンフナギ、クロマグロなどの養殖において人工種苗比率100%を実現）農林水産研究の推進（農林水産業・食品産業の持続性をたかめるため、農林漁業者などのニーズ、気候変動といった新たな課題、バイオ技術を活用したイノベーション創出などに対応する研究開発を国主導で推進、また研究成果の社会実装に向け、アウトリーチ活動の強化など研究開発環境の整備を実施）ムーンショット型農林水産研究開発事業（ムーンショット型目標「2050年までに、未利用の生物機能などのフル活用により、地球規模でのムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出」の実現に向け、研究内容の充実化・加速化を図る。）「知」の集積と活用の場によるイノベーションの創出。などについて説明がありました。

<参加コミュニティなどの講演から>

○ Greater Tokyo Biocommunity 協議会の活動紹介 政府のバイオ戦略に呼応するもので、経産省において東京圏のグローバルバイオコミュニティとしての潜在能力の高さを改めて確認され、東京圏においてのヒト・モノ・カネの好循環を促進する産学官連携の牽引役としての役割を果たす。令和3年度中のマスタープラン策定を図る。大きなGTB協議会（近隣自治体の副知事・副市長を含む）を立ち上げ、「東京圏を世界最高峰のイノベーションセンターにすることにより「2030年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現」の達成に貢献することを目指して以下のミッションを策定しました。（1）東京圏の実力を可視化し、海外に発信する。（2）参画機関や関連団体との連携を強化し、交流を促進する。（3）国内および海外からの投資（研究開発・生産・人材育成・インキュベーションなど）を促進する。（4）規制・制度に関する提言・提案をす

る。(5) 研究開発と生産の両方のサプライチェーンを見直し、強化し、9 市場領域^(注)を含む産業のポテンシャルを最大化する。

(注); 9 市場領域とは、1) 高機能バイオ素材(軽量化、耐久性、安全性): とりまとめ経産省、2) バイオプラスチック(汎用プラスチック代替): とりまとめ経産省、3) 持続的一次生産システム: とりまとめ農林水産省、4) 有機廃棄物・有機排水処理: とりまとめ経産省、5) 生活習慣改善ヘルスケア、機能性食品、デジタルヘルス: とりまとめ経産省、6) バイオ医薬・再生医療・細胞治療・遺伝子治療関連産業: とりまとめ健康・医療戦略室、7) バイオ生産システム: とりまとめ経産省、8) バイオ関連分析・測定・実験: システムとりまとめ経産省、9) 木材活用大型建築、スマート林業: とりまとめ林野庁

○ バイオコミュニティ関西 (Biock) 「つなぐ」「つなげる」「つながる」・集積から連携へを表題として、持続可能な社会実現のため、バイオファーストの発想を広げ、国際都市型バイオコミュニティの形成を目指す。そのゴールは、「関西を拠点にバイオ分野における究極のエコシステムを作る」としています。

○ 北海道プライムバイオコミュニティ 2050年のビジョンとして「誰もが農林水産業に従事したくなる憧れの北海道」を掲げ、世界と協調できる持続可能な一次生産システムの構築、一次産業のスマート化による労働生産性の向上、鮮度保持・品質保持技術の研究や事業化の活発化、北海道バイオブランドの確立、国内外市場への戦略的展開、一次産業従事者を育成し、海外への人材派遣を2030年のあるべき姿として掲げている。具体例として「こころとカラダ、スマート農業; 岩見沢市」、「ワイン; 余市町」、「カーボンニュートラル; 釧路市」、魚介海藻養殖; 函館市」の紹介がありました。

○ 長岡バイオコミュニティ 地域ステークホルダーを巻き込んだバックキャストイングを掲げ、未利用バイオ資源を活用した高付加価値製品の生産、持続的で高品質な作物栽培のためのオーガーマイクロ微生物堆肥技術確立の紹介がありました。

○ 鶴岡バイオコミュニティ 慶応大学を発信基地とするベンチャー(スパイバー、インセムズテクノロジーなど)、人材育成などを紹介しました。

○ 福岡バイオコミュニティ 人・企業・情報が集まり成長する国内有数拠点であることを生かし、2021年に行った事業の紹介があった。その主なものは、バイオ産業の振興を目的とした支援事業の展開、シンポジウム開催、地域企業の成長を支援(久留米リサーチパークの支援)、情報交換会などがありました。

○ BioJapan (2021) の成果・JBA のベンチャー支援(バイオベンチャーデータベース)の紹介がありました。

○ ジェトロの国際ビジネス支援 ジェトロのライフサイエンス関連事業(特にバイオベンチャーの海外展開支援、ライフサイエンス関連外国企業の誘致・国際産学連携支援)、ジェトロと大学・

国研との包括連携協定と協業成果の紹介があり、HOBIA としての参入の可能性がありそうです。

○ ライフサイエンスインキュベーション協議会 ライフサイエンス分野(特にヘルスケア分野の国内外の人材・投資を連携させるインフラおよび世界との窓口を構築して日本の科学技術の産業実装をより高度に実現するためのもの)でした。今後に期待したい。

🌐 Web 見学会 報告

HOBIA 理事 山下英雄 (ホクサン(株)農業科学研究所長)

HOBIA 初の Web 見学会として、2022 年 1 月 19 日にホクサン株式会社の北広島工場を見学していただきました。コロナ禍で製造現場を直接見ていただくことが叶わない状況ではありましたが、2021 年 11 月 24 日、企画運営委員の三浦健人氏にお越しいただき、スマホ片手に取材していただきました。

Web 見学会当日は、ホクサンが工場紹介用に制作していた動画を先にご覧いただき、続いて取材時の動画を視聴していただきました。工場内の配置の都合から、リアル見学と同様に製造工程の後ろから、梱包工程 小分け工程 製剤工程の順のご案内となりました。多人数来訪の際にはお見せできないような狭いところまで入り込んでいただき、三浦委員と案内役の工場長とのやり取りと機械の動作音が臨場感を増し、参加された皆さまも工場見学をした気分になっていただけたのでは? と思っております。

コロナの終息が見えない状況ではありますが、遠隔地の方々も気軽に参加できる Web 見学会は会員相互の情報交換の場としても有用と思いますので、第 2 弾以降の企画にも期待します。

HOBIA のホームページ <http://www.hobia.jp>

NPO 法人 北海道バイオ産業振興協会
札幌市北区北 2 1 条西 1 2 丁目 コラボほっかいどう内